

8. 「わたしたちの思い描く未来の精華町
作品コンクール」入賞作品

【最終選考結果】

精華町第6次総合計画策定に向けて「わたしたちの思い描く未来の精華町」作品コンクールを実施した（令和4年3月表彰）。中学生の部は2年生を対象とした作文コンクールであり、2校から47作品の応募がありました。また、小学生の部は、5年生を対象とした絵画コンクールであり、4校から210作品の応募がありました。

■入賞者（敬称略）

【中学生の部 作文】

最優秀賞	津田 輝	精華西中学校
優秀賞	上垣 大河	精華南中学校
入賞	中川 真緒	精華南中学校
入賞	新川 光琉	精華南中学校
入賞	山田 有理	精華南中学校

【小学生の部 絵画】

最優秀賞	竹森 穂奏	精華台小学校
優秀賞	山崎 実莉	精華台小学校
入賞	海田 健太郎	東光小学校
入賞	岡 柚花	精華台小学校
入賞	湖亀 芹香	東光小学校
入賞	花田 遼馬	川西小学校
入賞	廣田 幸	東光小学校
入賞	本田 晴菜	東光小学校
入賞	松本 蓮太郎	精華台小学校
入賞	世継 琴香	精華台小学校

休日に、車を使って出かけるときに今ある
 大きな道路や鉄道の繋がっている京田辺市や
 木津川市だけでなく、精華大通りのような道
 路や鉄道が奈良県や、大阪府の方面にもでき
 て周りの地域にも行きやすい町になつて町外
 に出るのも町外から来てもらいやすくなつて
 いると思います。三つ目は、これらのような
 周りの地域との「繋がり」です。
 そして、今あるキャラクターや母だけでな
 く、その他の特産品を取り上げていつている
 と思います。例えば、小中学校などで受けて
 いる精華町内にある企業の方からの出前授業
 をただ聞いて学ぶだけでなく、小中学校から
 他の場所へと発信することができそうです。そし
 て、学研都市の精華町として精華町の魅力が
 伝わっていると思います。これが四つ目で、
 学研都市と子供、そして全国との「繋がり」
 です。
 さらに、子供から大人そしてお年寄りまで
 が仲良く生活できるようになつていると思い

ま	す	。	具	体	的	に	言	う	と	、	平	日	に	自	分	達	を	含	む
働	く	世	代	が	働	い	て	い	る	と	き	に	お	年	寄	り	や	子	供
が	放	課	後	に	立	ち	寄	れ	る	集	会	所	な	ど	の	場	所	で	の
コ	ミ	ユ	ニ	テ	ィ	ー	の	場	が	た	く	さ	ん	あ	る	と	思	い	ま
す	。	こ	れ	が	、	五	つ	目	の	全	世	代	の	「	繋	が	り	」	で
す	。																		
	何	よ	り	も	一	番	十	年	後	で	も	大	切	で	あ	っ	て	ほ	し
い	と	思	う	こ	と	が	あ	り	ま	す	。	そ	れ	は	、	自	然	に	つ
い	て	で	す	。	ど	う	い	う	こ	と	か	と	言	う	と	、	今	は	、
自	然	と	技	術	が	バ	ラ	ン	ス	よ	く	あ	り	ま	す	が	十	年	後
で	も	自	然	あ	ふ	れ	る	精	華	町	で	あ	っ	て	い	て	ほ	し	い
と	い	う	こ	と	で	す	。												
	こ	れ	ら	の	よ	う	な	「	繋	が	り	」	が	十	年	後	の	精	華
町	に	あ	ふ	れ	て	い	て	ほ	し	い	と	思	い	ま	す	。	そ	し	て
そ	ん	な	町	で	あ	れ	ば	、	た	く	さ	ん	の	人	が	気	持	ち	よ
く	住	み	続	け	ら	れ	、	住	み	た	い	と	思	わ	れ	続	け	ら	れ
る	と	思	い	ま	す	。													

			精	華	町	と	わ	た	し	の	未	来	デ	ザ	イ	ン						
			精	華	南	中	学	校			二	年		上	垣		大	河				
			自	分	が	十	年	後	も	精	華	町	に	住	み	続	け	て	い	る	の	
			で	あ	れ	ば	、	こ	ん	な	町	に	な	っ	て	い	て	ほ	し	い	と	考
			え	る	こ	と	が	三	つ	あ	り	ま	す	。								
			一	つ	目	は	、	今	と	変	わ	ら	な	い	自	然	や	田	園	風	景	
			が	残	っ	て	い	て	ほ	し	い	と	考	え	ま	す	。	そ	の	理	由	と
			し	て	、	小	さ	い	頃	に	見	た	自	然	や	そ	の	風	景	が	そ	の
			ま	ま	残	っ	て	い	る	こ	と	で	、	大	人	に	な	っ	た	自	分	が
			懐	か	し	さ	を	感	じ	、	安	心	で	き	る	よ	う	な	気	が	す	る
			か	ら	で	す	。	ま	た	、	新	型	コ	ロ	ナ	ウ	イ	ル	ス	の	感	染
			拡	大	に	よ	る	在	宅	ワ	ー	ク	な	ど	の	新	し	い	働	き	方	が
			見	直	さ	れ	て	い	る	今	、	精	華	町	の	美	し	い	自	然	や	田
			園	風	景	を	眺	め	な	が	ら	仕	事	が	で	き	る	の	も	良	い	の
			で	は	な	い	か	と	思	い	ま	す	。	だ	か	ら	、	自	分	は	精	華
			町	の	美	し	い	自	然	や	田	園	風	景	を	い	っ	ま	で	も	残	し
			て	い	っ	て	ほ	し	い	で	す	。										
			二	つ	目	は	、	若	い	年	齢	層	の	人	た	ち	が	住	み	や	す	
			い	町	に	な	っ	て	ほ	し	い	と	考	え	ま	す	。	そ	の	理	由	と
			し	て	、	若	い	年	齢	の	人	た	ち	が	住	む	こ	と	で	町	に	活

気が生まれると思うからです。自分が将来どこ
 かで住むかを考えたとき、第一の条件として
 は仕事に行きやすい場所、もしくは仕事をし
 やすい場所を選ぶと思います。また、買い物
 などに出かけやすい場所になると思います。
 つまり、交通の便が良く、商業施設などがあ
 る程度近くにあることが大切なのだと考えま
 す。今現在でも充分かもしれませんが、さら
 にこれからの未来を考えると、精華町内もし
 くは周辺にさらに高速道路が建設されたり、
 リニア新幹線が開通したり、小さな空港がで
 きたりすれば、精華町の魅力がさらに上がる
 のではないかと思います。

三つ目は、ここに住み続けたいと思える町
 になつてほしいと考えます。住み続けたいと
 思つてもらえる町が一番素晴らしいものだと思
 感じます。そのためにも治安や防災など町の
 安全性が重要だと思います。夜は街灯で明る
 いか、犯罪がよく発生する町ではないかなど
 住むことについては大切なポイントです。で

などの科学生活文化研究もその一つです。健康
 長寿に対しての研究もおこなわれているよ
 うです。食べ物の研究や運動の研究などもそ
 うです。高齢者の社会との関わりをいかにし
 て作り出すかも課題になっていると思います
 。
 私は将来医療系に進みたいと考えています
 。やはり高齢者とのかかわりが多くなると思
 います。病気になる前の健康寿命をどうした
 ら伸ばしていけるのか、それに関われるよう
 な仕事をしていければなと思います。精華町
 に住んでいる、高齢者の趣味やしていた仕事
 など調べて、高齢者の社会参加を待つだけ
 でなく、こちから声をかけて行ったりする
 ことで社会参加を促せると思います。また、
 高齢者を孤立させない取り組みが必要だと思
 います。もちろん社会参加したくない高齢者
 もいるでしょうが、必要とされない事こそ、
 辛いことはないのではないかと今は考えます
 。高齢者の現状をたくさん知り、日本だけで

、彼らと交流する機会をもてていない。私に
 は日常的な彼らとの接点がほとんど無いのだ
 。どうすれば彼らとの接点が生まれるのか、
 そう考えていたとき、私は昔見たとあるアニ
 メを思い出した。そのアニメには、体をほぼ
 動かすことができない少女が登場する。その
 少女は、特別な装置を使って、VRのゲーム
 の世界に入り、自由自在に生きていた。そし
 て主人公と出会い、友人となり、一緒に冒険
 していた。このアニメのように、仮想空間に
 交流できる場所があれば、障がいの有無に関
 係なく、気軽に交流ができるのではないだろ
 うか。まるで夢物語のようだが、既にV
 Rのゲームも存在している。そう考えると、
 遠くない未来に実現可能なのではないだろう
 か。
 私達の精華町は、けいはんな学研都市であ
 る。ここは、産・学・官・住の多様な主体が
 相互に連携し、高め合いながら、未来を拓く
 知を創造する都市なのだ。それならば、新し

い	交	流	の	場	が	精	華	町	か	ら	生	ま	れ	る	ベ	キ	で	は	な
い	だ	ろ	う	か	。	V	R	の	世	界	と	い	う	と	、	単	な	る	遊
び	の	世	界	で	、	現	実	逃	避	の	場	所	と	い	っ	た	イ	メ	ー
ジ	が	強	い	よ	う	に	思	う	。	し	か	し	、	使	い	方	に	よ	っ
て	は	、	物	理	的	な	障	害	物	を	越	え	て	い	け	る	一	種	の
場	と	な	る	。	例	え	ば	、	私	達	の	学	校	と	支	援	学	校	と
で	、	合	同	授	業	を	す	る	こ	と	も	で	き	る	。	仮	想	空	間
で	、	文	化	祭	や	体	育	祭	の	よ	う	な	イ	ベ	ン	ト	も	で	き
る	だ	ろ	う	。	こ	の	よ	う	な	定	期	的	な	交	流	を	行	う	こ
と	が	で	き	れ	ば	、	私	が	最	初	に	も	っ	て	い	た	よ	う	な
偏	見	を	も	っ	人	は	確	実	に	減	る	だ	ろ	う	。	私	達	は	、
も	っ	と	簡	単	に	つ	な	が	れ	る	し	、	も	っ	と	簡	単	に	助
け	合	え	る	だ	ろ	う	。	未	来	の	精	華	町	は	、	こ	の	よ	う
な	新	し	い	人	と	人	と	の	つ	な	が	り	方	を	リ	ー	ド	し	て
い	く	よ	う	な	町	で	あ	っ	て	ほ	し	い	。	そ	し	て	、	私	も
そ	れ	に	何	ら	か	の	形	で	関	わ	っ	て	い	け	る	よ	う	な	人
に	な	り	た	い	。														

二つ目は、行事・地域交流の参加を増やす
 こと、行事を増やすこととです。増やすことは
 難しいですが、実現できれば、町の進捗につ
 ながると思います。そして、行事・地域交流
 に参加する人を増やすこととです。年々行事や
 地域交流に参加する人が減っている傾向があ
 ります。参加する人が増えれば、町おこしに
 もなり、伝統を守ることができると思います
 。地域のボランティアそうじで地域の自然を
 保ったり、精華町の大会イベント、精華祭りで
 の伝統を残したりと、町のみんなが一つにな
 って、行うことが大切だと私は考えました。

三つ目は、PRです。私は、精華町は町の
 PRがあまりできていないと思います。精華
 町に住んでいるのに、あまり特徴を知りませ
 ん。どんなことが有名なのか、精華町の郷土
 料理など、知らないことがたくさんあります
 。それは私の周りの人も同じでした。精華町
 に住んでる人、観光客の人たちに、精華町に
 ついて知ってもらうにはどうしたらいいだろ

う。そこで私は考えました。SNSを使つた
 PRをするこトです。Twitter、Insta-
 gram、TikTokなどで、町の
 良い所や、有名なものなどを紹介したり、精
 華町の広報キャラクターが、町のいい所をP
 Rし、その動画をSNSにあげるなど今の精
 華町にあるものを使つたりして、SNSをよ
 り多く使い、町をたくさんの人に知つてもら
 ったらいいと思ひます。芸能人の人を呼んで
 PRしてもらつたのも一つの案です。最近
 は、ネットが発達しており、若い世代から年配の
 方まで多くの人がSNSを利用して使ひます。
 こんな今だからこそ、流行りに乗つて、精
 華町を知つてもらつたこトができるんじゃないで
 しょうか。最近は様々な機能がついてくるの
 で、より、利用するべきだと思ひます。正し
 い使ひ方で、精華町を盛り上げれると思ひま
 す。
 このよつに、10年後、観光客や住む人が増
 えるよつに私は三つの提案を考えました。

【小学生の部 絵画】

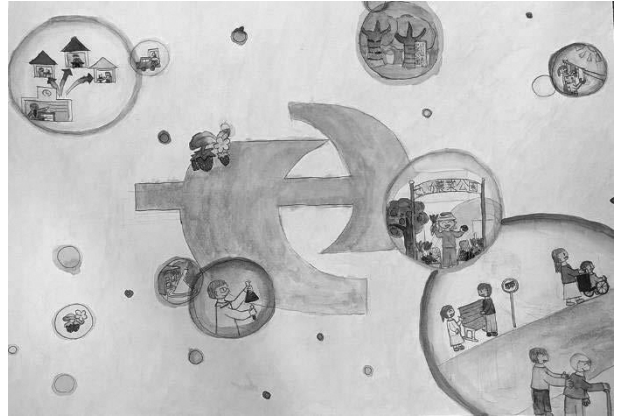
最優秀賞

竹森 穂奏 (精華台小学校)



優秀賞

山崎 実莉 (精華台小学校)



入賞

海田 健太郎 (東光小学校)



入賞

岡 柚花 (精華台小学校)



入賞

湖亀 芹香 (東光小学校)



入賞

花田 遼馬 (川西小学校)



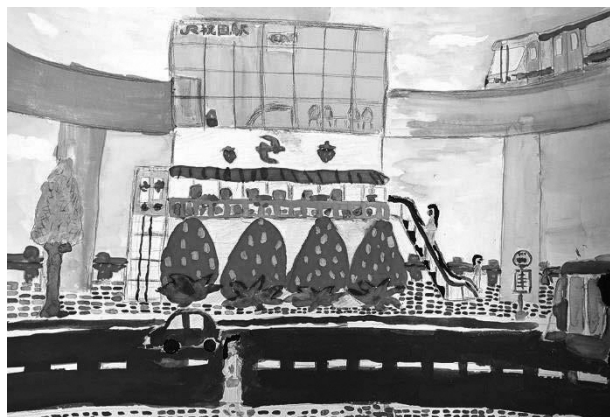
入賞

廣田 幸 (東光小学校)



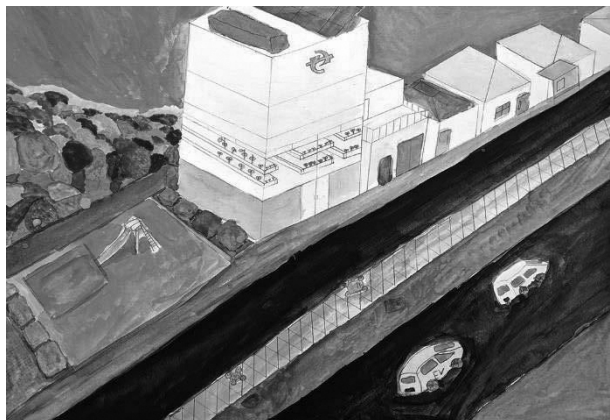
入賞

本田 晴菜 (東光小学校)



入賞

松本 蓮太郎 (精華台小学校)



入賞

世継 琴香 (精華台小学校)

